テーマ

創

かくれ家づくり……102

創作活動

貝殻キーホルダー・ペンダント……104

貝の根付け……105

マンボウキーホルダー……106

マリンアート……107

粘土細工……108

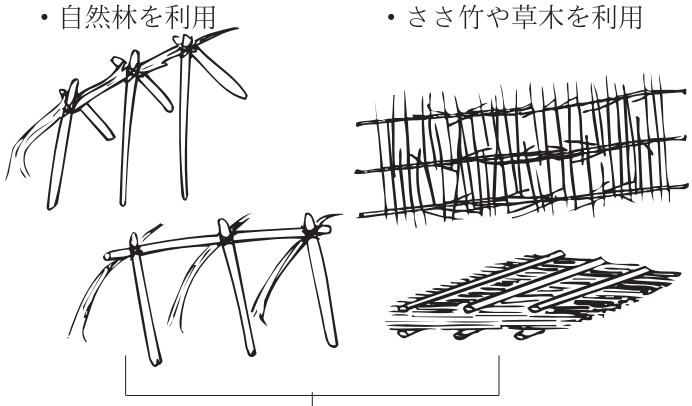
サンドブラストグラスづくり……109

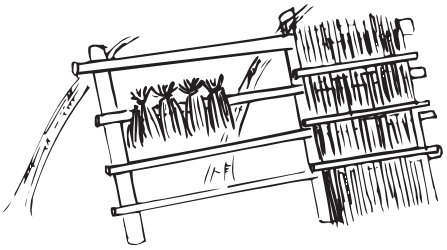
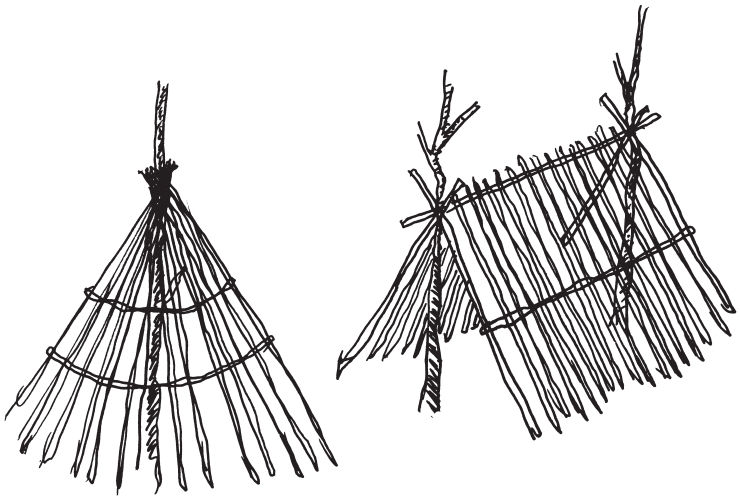
ジェルキャンドルづくり……110

マリンドームづくり……111

【貝の根付け】

活動名	かくれ家づくり	活動可能人数	40人	活動時間	3時間
		集合場所	イベント広場	活動場所	自然体験林
ねらい	自然林の中で友達と協力して草や木を使ったかくれ家づくりを楽しむ。			関連教科等	図画工作 総合的な学習の時間
留意点	・4棟作ることが可能。 ・1棟を作るために10人程度必要。 ・服装は長袖・長ズボンが望ましい。				

活動	担当	準備・備考
1 **道具の準備**（10分） ◇発注依頼書で発注するもの 荒縄 ／ 価格については → ・価格一覧資料参照(P129) ※ＳＴは、ＡＴと事前打合せを行う。 （1）必要な材料の確認をする。 （2）道具の確認をする。	ＳＴ・ＡＴ	《施設準備》 ・木材　・真竹 ・しの竹　・ささ竹 ・救急バッグ ・のこぎりがま ・はさみ **《団体準備》** **・軍手** **・荒縄（1巻（約100ｍ）で3～4棟つくることが可能）など（発注可）** **・ゴミ袋（使用した荒縄を入れる）1～2枚**
2 **かくれ家についての説明を聞く**（10分） ※ＳＴからの要望があればＡＴが説明する。 （1）樹木をいためないようにする。 （2）樹木に登らない。		
3 **活動開始** ※必要に応じてＡＴが説明をする。 木や枝の状態を見て、どこに作るか場所を決める 柱の組み立て：・自然林を利用 屋根や側壁をつくる：・ささ竹や草木を利用 		※ＳＴは活動者の安全指導に心がける。 ・斜面は走らない。 ・（原則的には）木登りはさせない。 ・ＳＴは、活動者の計画に無理がある場合は助言をする。 ※季節により屋根や側壁にかけるささ竹や草木が不足することがある。 ・ＳＴは活動者に目を配る。

活　　動	担当	準備・備考
組み立てた柱に屋根や横壁の柱を取り付ける  完成したかくれ家のなかで自由に遊んだり、他のグループで作ったものを見せてもらったりする。 	ＳＴ ・ ＡＴ	
4　**後片付け**　※ＳＴによる指導 （１）かくれ家を材料ごとに分解し、元にもどす。 （２）荒縄は片付ける。（学校に持ち帰る、ゴミとして捨てるなどして後に残さないこと。） （３）使用した道具の数の確認をする。 （４）ケガをした活動者がいないかどうかの確認をする。		

活動について

活動名	創　作　活　動 貝殻キーホルダー・ペンダント	活動可能人数	5　0　人	活動時間	2　時　間
		集　合　場　所	制作実験室	活動場所	制作実験室
ねらい	貝殻を使い身近に利用できるものをつくることによって、自然の美しさを理解するとともに創作活動の楽しさを味わう。			関連教科等	図画工作・総合的な学習の時間
留意点	・貝の根付けと組み合わせて実施することも可。 ・制作実験室の他に学習室等を利用したりドリルを共用したりすれば、大人数での実施も可。				

活動	担当	準備・備考
※ＳＴはＡＴと活動について事前の打合わせをする。 1　**道具の準備**（約10分） ・事前に砂浜活動や海岸散歩で貝殻を拾った場合は、使用することも可。 ◇発注依頼書で発注できるもの ・貝殻（世界の貝大粒） ・キーホルダー金具 ・ペンダント用チェーン 価格については →・価格一覧 資料参照(P129) ・発注物品をスタッフ室から活動場所に運ぶ。	ＳＴ ・ ＡＴ	《施設準備》 ・手回しドリル ・ペンチ ・ヤスリ **《団体準備》** **・金具やチェーン（発注可）** **・貝殻大粒（発注可）** ※貝の内容については、自然の家にお問い合わせください。
2　**作り方の説明を聞く**（５分）　（ＳＴ） ※必要に応じてＡＴが説明をする。 （１）作品の例や見本を参考に説明する。 （２）道具の安全な使い方やけがなどに対する諸注意を説明する。		※ＳＴは活動者の安全指導に心がける。
3　**活動開始** ①手回しドリルを使って、貝に穴を開ける。（約20分程度） ②貝に金具やチェーンを付ける。		
4　**後片付け**（20分） ※ＳＴによる指導　全員で分担・協力する。 （１）道具の片付け （２）清掃		 ［作品例］

活動名	創作活動 貝の根付け	活動可能人数	50人	活動時間	1～2時間
		集合場所	制作実験室	活動場所	制作実験室
ねらい	貝殻を使い身近に利用できるものをつくることによって、自然の美しさを理解するとともに創作活動の楽しさを味わう。			関連教科等	図画工作・総合的な学習の時間
留意点	・他の2時間の活動と組み合わせて実施することも可。 ・制作実験室の他に学習室等を利用すれば、大人数での実施も可。				

活動	担当	準備・備考
※ＳＴはＡＴと活動について事前の打合わせをする。 1 **道具の準備**（約10分） ◇発注依頼書で発注できるもの（持参可） ・貝の根付けセット（3個入り） ・木工用ボンド 価格については →・価格一覧 資料参照(P129) ・発注物品をスタッフ室から活動場所に運ぶ。	ＳＴ・ＡＴ	《施設準備》 ・はさみ ・新聞紙 **《団体準備》** **・貝の根付けセット（要発注）** **・木工用ボンド（発注可）** **・つまようじ**
2 **作り方の説明を聞く**（5分）（ＳＴ） ※必要に応じてＡＴが説明をする。 （1）作品の例や見本を参考に説明する。 （2）道具の安全な使い方やけがなどに対する諸注意を説明する。		※ＳＴは活動者の安全指導に心がける。 **※作成時間のめやす** **1～2個作成…40分間** **3個作成…60分間**
3 **活動開始** ①貝の内側に多めにボンドを付けて、布を貼る。 ②長い方のひもに鈴を通し、輪にする。そのひもの結び目を中に入れて、貝をしっかりと貼り合わせる。 ③貼り合わせた貝の周囲にボンドを付け、短い方のひもを巻きつける。 （つまようじを使用すると、ボンドを付けやすい。）		
4 **後片付け**（20分） ※ＳＴによる指導　全員で分担・協力する。 （1）道具の片付け （2）清掃		 ［作品例］

活動について

活動名	創作活動 マンボウキーホルダー	活動可能人数	50人	活動時間	1～3時間
		集合場所	制作実験室	活動場所	制作実験室
ねらい	デザインを自分で考え、工夫しながらオリジナルの作品づくりをすることによって、創作活動の楽しさを味わう。			関連教科等	図画工作・総合的な学習の時間
留意点	・制作実験室の他に学習室等を利用すれば、大人数での実施も可。 ・作品を乾燥させる時間が必要である。				

活動	担当	準備・備考
※ＳＴはＡＴと活動について事前の打合わせをする。 1 **道具の準備**（約10分） ◇発注依頼書で発注できるもの ・マンボウキーホルダー　価格については →・価格一覧 資料参照(P129) ・発注物品をスタッフ室から活動場所に運ぶ。	ＳＴ・ＡＴ	《施設準備》 ・パレット ・筆 ・筆洗 ・ペンチ ・キリ **《団体準備》** **・マンボウキーホルダー（要発注）** **・絵の具** **・ペン** **・ニスや油性スプレー(透明)** **・彫刻刀(必要に応じて)**
2 **作り方の説明を聞く**（5分）　（ＳＴ） ※必要に応じてＡＴが説明をする。 （1）作品の例や見本を参考に説明する。 （2）道具の安全な使い方やけがなどに対する諸注意を説明する。		※作成時間のめやす ペ　ン…1時間 絵の具…2時間 ニ　ス…3時間 ※ＳＴは活動者の安全指導に心がける。 ※ＳＴは、児童の構想に無理があったり、行き詰まったりしている場合に援助や助言をする。 ※彫刻刀で模様をつけてもよい。また、必要に応じてニスや油性スプレーを塗る。
3 **活動開始** ①材料をもとにどんなものを作るか考え、作品の構想を練る。 ②本体に絵の具やペンで色を塗る。 ③金具を付ける。 作品ができあがったら発表し合い、みんなで鑑賞する。 （1）お互いに作品のテーマや工夫した点などを発表する。 （2）工夫されている点などを見付けて今後の参考にする。		 ［作品例］
4 **後片付け**（20分） ※ＳＴによる指導　全員で分担・協力する。 （1）道具の片付け （2）清掃		

活動名	創作活動 マリンアート	活動可能人数	50人	活動時間	3時間
		集合場所	制作実験室	活動場所	制作実験室
ねらい	貝殻を使い身近に利用できるものをつくることによって、自然の美しさを理解するとともに創作活動の楽しさを味わう。			関連教科等	図画工作・総合的な学習の時間
留意点	・制作実験室の他に学習室等を利用すれば、大人数での実施も可。 ・作品を乾燥させる時間が必要である。作品が壊れないように持ち帰りの方法を工夫する。 ・完成した作品は、写真立てや壁掛けとして活用することができる。				

活動	担当	準備・備考
※ＳＴはＡＴと活動について事前の打合わせをする。 1 **道具の準備**（約10分） ・事前に砂浜活動やビーチコーミング、海岸散歩などで貝殻を拾った場合は、使用することも可。 ◇発注依頼書で発注できるもの ・貝殻（世界の貝中粒・小粒） ・マリンアート用木枠 ・接着剤 価格については →・価格一覧 資料参照(P129) ※ＳＴは、ＡＴと事前打合せをおこなう。 ・発注物品をスタッフ室から活動場所に運ぶ。	ＳＴ・ＡＴ	《施設準備》 ・パレット ・筆 ・筆洗い ・グルーガン本体 ・電熱ペン ・クリップ **《団体準備》** **・貝殻中粒、小粒（発注可）** **・マリンアート用木枠（要発注）** **・接着剤（発注可）** **・絵の具** **・グルーガン用スティック（直径7㎜～7.5㎜）（発注可）** **・飾り（大きめのビーズなど）** ※貝の内容については、自然の家にお問い合わせください。 ※ＳＴは活動者の安全指導に心がける。 ※ＳＴは、児童の構想に無理があったり、行き詰まったりしている場合に援助や助言をする。 ※貝に着色する場合はアクリル系の絵の具がよい。
2 **作り方の説明を聞く**（５分）　（ＳＴ） ※必要に応じてＡＴが説明をする。 （１）作品の例や見本を参考に説明する。 （２）道具の安全な使い方やけがなどに対する諸注意を説明する。		
3 **活動開始** ①材料をもとにどんなものを作るか考え、作品の構想を練る。 ②材料を組み立てる。 ③板に絵の具で絵をかいたり、接着剤で貝殻などを貼ったりする。 作品ができあがったら発表し合い、みんなで鑑賞する。 （１）お互いに作品のテーマや工夫した点などを発表する。 （２）工夫されている点などを見付けて今後の参考にする。		
4 **後片付け**（20分） ※ＳＴによる指導　全員で分担・協力する。 （１）道具の片付け （２）清掃		 ［作品例］

活動について

活動名	創作活動 粘土細工	活動可能人数	50人	活動時間	3時間
		集合場所	制作実験室	活動場所	制作実験室
ねらい	貝殻を使い身近に利用できるものをつくることによって、自然の美しさを理解するとともに創作活動の楽しさを味わう。			関連教科等	図画工作・総合的な学習の時間
留意点	・制作実験室の他に学習室等を利用すれば、大人数での実施も可。 ・作品を乾燥させる時間が必要である。作品が壊れないように持ち帰りの方法を工夫する。 ・ＡＴは準備、片付けの補助をする。				

活動	担当	準備・備考
※ＳＴはＡＴと活動について事前の打合わせをする。 1 **道具の準備**（約10分） ・事前に砂浜活動や海岸散歩で貝殻を拾った場合は、使用することも可。 ◇発注依頼書で発注できるもの ・貝殻（世界の貝中粒・小粒） ・紙粘土 価格については →・価格一覧 資料参照(P129) ・発注物品をスタッフ室から活動場所に運ぶ。	ＳＴ・ＡＴ	《施設準備》 ・パレット ・筆 ・筆洗い **《団体準備》** **・貝殻中粒、小粒（発注可）** **・紙粘土（発注可）** **・絵の具** **・空き瓶、空き缶など** **・筆**
2 **作り方の説明を聞く**（５分）（ＳＴ） ※必要に応じてＡＴが説明をする。 （１）作品の例や見本を参考に説明する。 （２）道具の安全な使い方やけがなどに対する諸注意を説明する。		※貝の内容については、自然の家にお問い合わせください。 ※ＳＴは活動者の安全指導に心がける。 ※ＳＴは、児童の構想に無理があったり、行き詰まったりしている場合に援助や助言をする。 ※貝に着色する場合はアクリル系の絵の具がよい。
3 **活動開始** ①貝材料をもとにどんなものを作るか考え、作品の構想を練る。 ②形を決め、紙粘土に貝殻などを埋め込んで花瓶やペン立てなどをつくる。 作品ができあがったら発表し合い、みんなで鑑賞する。 （１）お互いに作品のテーマや工夫した点などを発表する。 （２）工夫されている点などを見付けて今後の参考にする。		
4 **後片付け**（20分） ※ＳＴによる指導　全員で分担・協力する。 （１）道具の片付け （２）清掃		 ［作品例］

活動名	創　作　活　動 サンドブラストグラスづくり	活動可能人数	2　0　人	活動時間	3　時　間
		集　合　場　所	制作実験室	活動場所	制作実験室
ねらい	デザインを自分で考え、工夫しながらオリジナルの作品づくりをすることにより、創作活動の楽しさを味わう。			関連教科等	図画工作 総合的な学習の時間
留意点	・砂の吹きつけの際は、ＳＴまたはＡＴが補助する。 ・作品を持ち帰る際は、破損に注意する。 ・デザインを事前に準備しておくと、活動を進めやすい。				

活　動	担当	準備・備考
※ＳＴはＡＴと活動について事前の打合わせをする。 1　**道具の準備**（10分） ◇発注依頼書で発注できるもの（持参可） サンドブラスト用シート グラス 価格については →・価格一覧 資料参照(P129) ・発注物品をスタッフ室から活動場所に運ぶ。	ＳＴ ・ ＡＴ	《施設準備》 ・ハサミ ・カッター （デザインナイフ） ・コンプレッサー ・カーボン紙 ・掃除機 **《団体準備》** **・サンドブラスト用シート（要発注）** **・グラス（発注可）空き瓶等** ※グラスは無地で、高さ12cm、口径６cm程度のもの ※ＳＴは活動者の安全指導に心がける。 ※吹きつけは必ずＳＴまたはＡＴが補助する。
2　**作り方の説明を聞く**（15分）　（ＳＴ） ※必要に応じてＡＴが説明をする。 （１）シートの使用方法 （２）けがの注意、道具の安全な使い方等		
3　**活動開始**　全員で分担・協力する。 ※ＳＴの要請があればＡＴが随時指導する。 ①　材料をもとにどんなデザインにするか考え、作品の構想を練る。 ②　シートに絵や模様を描き、切り抜いてグラスに貼る。 ③　サンドブラスターで砂を吹き付けグラスに絵や模様を加工する。 ④　吹き付けが完了したらシートを剥がす。 作品が出来上がったら発表しあい、みんなで鑑賞する。 （１）作品の工夫した点などを発表する。 （２）構想や工夫されている点など見つけて今後の参考にする。		
4　**後片付け**（15分） （１）道具の片付け （２）清掃		 ［作品例］

活動について

活動名	創作活動 ジェルキャンドルづくり	活動可能人数	50人	活動時間	2時間
		集合場所	制作実験室	活動場所	制作実験室
ねらい	デザインを自分で考え、工夫しながら、オリジナルの作品づくりをすることにより、創作活動の楽しさを味わう。			関連教科等	図画工作 総合的な学習の時間
留意点	・作品を持ち帰るときには、破損に注意する。				

活動	担当	準備・備考
※ＳＴはＡＴと活動について事前の打合わせをする。 1 **道具の準備**（10分） ◇発注依頼書で発注できるもの ・ジェルキャンドルセット（グラス、カラーサンド、ジェルワックス、ろうそくの芯、ガラス細工１つ、ビー玉１つ、貝殻１つ） 価格については →・価格一覧 資料参照(P129) ・発注物品をスタッフ室から活動場所に運ぶ。	ＳＴ ・ ＡＴ	《施設準備》 ・ホットプレート ・やかん　・竹串 ・わりばし・ピンセット ・カラーサンド ・スプーン ・ジェルワックス ・ガラス細工 ・貝殻　・ビー玉 **《団体準備》** **・ジェルキャンドルセット（要発注）**
2 **作り方の説明を聞く**（10分）　（ＳＴ） ※必要に応じてＡＴが説明をする。 （１）カラーサンドの入れ方 （２）飾りとなるものの並べ方 （３）ろうそくの芯の差し方　等		※ホットプレートを加熱し、ジェルワックスを溶かす（160～200℃程度）溶けたら、保温にして、温度を下げる。 ※拾った貝を入れてもよい。ただし、可燃物は入れない。 ※ジェルワックスを入れるときには、原則としてＳＴが入れる。 ※ジェルワックスを入れるときには、ガラス細工やビー玉等の動かないものの上から注ぐとよい。 ※ホットプレート・やかんが熱いうちは、子どもがさわらないように注意し、冷えてからＡＴが片付ける。 ※持ち帰った後、保護者の許可がないところで、火をつけないように注意をする。
3 **活動開始**　※ＳＴの要請があれば、ＡＴが随時指導する。 材料をもとにどんなデザインにするか考え、作品の構想を練る。 ①　カラーサンドを入れる。(1/3程度) ②　ビー玉、ガラス細工、貝がらを入れる。 ③　ＳＴまたはＡＴが、溶かしたジェルワックスを入れる。 ④　固まるまでそのままにしておく。(１時間程度) ⑤　固まってからろうそくの芯を差す。 作品が出来上がったら発表しあい、みんなで鑑賞する。 （１）お互いに作品のテーマや工夫した点などを発表する。 （２）工夫されている点などを見付けて今後の参考にする。		［作品例］
4 **後片付け**（10分） ※ＳＴによる指導　全員で分担・協力する。 （１）道具の片付け （２）清掃		

活動名	創　作　活　動 マリンドームづくり	活動可能人数	5　0　人	活動時間	2　時　間
		集　合　場　所	制作実験室	活動場所	制作実験室
ねらい	デザインを自分で考え、工夫しながら、オリジナルの作品づくりをすることにより、創作活動の楽しさを味わう。			関連教科等	図画工作 総合的な学習の時間
留意点	・作品を持ち帰るときには、破損に注意する。				

活動	担当	準備・備考
※ＳＴはＡＴと活動について事前の打合わせをする。 1　**道具の準備**（10分） ◇発注依頼書で発注できるもの ・マリンドームセット（スポンジ、ふたつきびん、ガラス細工、プラ板） ・グルーガン用スティック…持参可 価格については→・価格一覧 資料参照(P129) ・発注物品をスタッフ室から活動場所に運ぶ。	ＳＴ・ＡＴ	《施設準備》 ・わん　・つまようじ ・はさみ　・ふたつき容器 ・ぞうきん　・洗濯のり ・ラメパウダー　・造草 ・スパンコール ・貝 ・極小スプーン ・オーブントースター ・粘土板 ・クッキングシート **《団体準備》** **・マリンドームセット（要発注）** **・グルーガン用スティック（持参可）** **・カラー油性ペン**
2　**作り方の説明を聞く**（10分） ※必要に応じてＡＴが説明をする。 ・プラ板でのパーツづくり　・スポンジの切り方 ・飾りとなるものの並べ方　・液の入れ方　等		
3　**活動開始**　※ＳＴから要請があればＡＴが説明する。 材料をもとにどんなデザインにするか考え作品の構想を練る。 ①　プラ板にカラー油性ペンで絵を描く。 ②　オーブントースターを余熱後、高温（220℃）で加熱し、縮んだら取り出して粘土板で押さえ、形を整える。 ③　２枚のスポンジを、ふたの内側より小さくなるように、はさみで切る。 ④　ガラス細工や造草、プラ板の飾りなどを、ホットボンドでスポンジに付ける。（造草は、爪楊枝で穴を開けて差し込んでから接着する。） ⑤　２枚のスポンジをホットボンドで接着し、ふたにも接着する。 ⑥　ラメパウダー（極小スプーン３杯）、スパンコール（極小スプーン１杯）をびんの中に入れる。 ⑦　おわんの中にびんを置き、びんの中に水と洗濯のりを４：１に混ぜた液を満杯に入れ、パウダーがなじむように混ぜる。（びんの容量は、150 mL） ⑧　ふたを「そーっと」閉める。（水やパウダーがこぼれても気にしない） ⑨　水滴をよく拭き取り、ひっくり返すと完成。 作品が出来上がったら発表し合い、みんなで鑑賞する。 （１）お互いに作品のテーマや工夫した点などを発表する。 （２）工夫されている点などを見つけて今後の参考にする。		※プラ板は、６cm四方程度の大きさがよい。 ※加熱、取り出しはＳＴが行う。 ※スポンジはパッキンが見える大きさでないと、水漏れする。 ※ホットボンドを多めに付けないと、水に入れた際に外れるので注意する。 ※スポンジの空気がだんだん出てくるので、気になる場合は後から水を入れる。 ［作品例］
4　**後片付け**（10分） ※ＳＴによる指導　全員で分担・協力する。 （１）道具の片付け （２）清掃		

活動について